

看護職員負担軽減計画（2021年度目標）

看護職員と他職種との役割分担に伴う計画

部署	項目	現状の取り組み	2020年度の目標		2021年度の目標		目標達成のために必要な事項
				達成状況		達成状況	
事務部	病棟での対応	病棟での電話対応 病棟でのカルテ製本 病棟での窓口対応	・医師事務作業補助を病棟配置とし処置等の代行入力を行う。	・病棟での事務員の業務は出来なかった。	・医師事務作業補助を病棟配置とし処置等の代行入力を行う。		・医師事務作業補助者の増員、教育
	病棟での対応	・病棟でのカルテ製本、窓口、電話対応は、3-3、3-4はほぼ出来ている。 ・入院他科受診受付は、3-3、3-4はほぼ出来ている。	・病棟との連携を密にし看護業務の軽減を図る。	・業務を実施し負担軽減を図れた。	・病棟との連携を密にし看護業務の軽減を図る。		・医師事務作業補助者の病棟配置を目指す
	入院案内（事務手続き）	入院案内	・引きつづき事務員が入院案内を行う。	・入院案内を事務員が行い看護師の負担軽減に役立っている。 ・全例行っている。	・引きつづき事務員が入院案内を行う。		
	外来問診業務	患者さまの事前問診内容を電子カルテに1から記載している			・AI問診を導入し事前問診内容をそのままテキスト出力することにより電子カルテに1から問診内容を記載できるため医師・看護師の負担軽減を図る。		
薬剤部	薬剤管理（入院）	持参薬セットについては一部のみ薬剤師が行っている。	・引きつづき100%を目指して取り組みたい。	定期処方薬については7病棟中4病棟で実施している。	継続して行っていきたい。できない場合でも看護師負担軽減のために一包化出来る限り取り組みたい。		・薬剤師の増員 ・看護師との連携
	混注業務（入院）	抗癌剤、TPNの混注は薬剤師がしている。 それ以外の混注は看護師がしている。	・引きつづき必要なコメントは入れていく。	抗癌剤、TPNの混注は薬剤師がしている。それ以外の混注は看護師がしている。	引き続き必要なコメントは入れていく。		・薬剤師の増員 ・マニュアル・手順書の整備
	退院時薬について	薬剤師不在時間帯における退院時薬の渡薬について	・引きつづき100%を目指して取り組みたい。	薬剤師不在時間帯以外ではほぼ100%渡薬は薬剤師が行っている。	不在時間帯以外の渡薬100%。不在時間帯も、看護師負担軽減のためにわかるようにしていきたい。		・薬剤師の増員
	手術・検査目的の入院患者の中止薬の確認について	入院前面談を実施している。	・引きつづき100%中止できるようにしたい。	100%中止できている。	引き続き100%中止できるようにしたい。		・薬剤師の増員
	夜間（薬剤師不在時間帯）の投薬について	看護師と医師のダブルチェックにて薬剤を交付している。					

部署	項目	現状の取り組み	2020年度の目標		2021年度の目標		目標達成のために必要な事項
				達成状況		達成状況	
リハビリテーション科	送迎の強化	入院患者送迎について	・引きつづき入院患者送迎を実施。	・100%達成。	・引きつづき入院患者の送迎を実施。 ・病棟にてクラスター発生時などの人出不足時の手伝い。		
放射線科	放射線科検査の薬剤や器材準備	放射線科検査の準備と後処理の補助をおこなう。	検査の準備・後処理の補助をおこない看護職員の負担を軽減する。	ドック胃透視・透視検査や造影CT検査などの準備、薬剤や器材準備の補助を行いました。	検査の準備・後処理の補助をおこない看護職員の負担を軽減する。		放射線科検査の知識を深め、器材や薬剤の保管場所を把握する。
	3-2病棟の看護職員不足に対する放射線科検査の送迎協力	3-2病棟は看護職員不足だが放射線科検査の送迎は看護職員が行っている。			3-2病棟の看護職員不足に対し放射線科検査の送迎協力を行い看護職員の負担を軽減する。		協力内容の確認と患者さんの状態などの情報伝達を受け責任を持って送迎協力を行う。
臨床検査科	内科・療養病棟依頼の心電図検査はベッドサイドで実施 超音波検査で移動困難な患者はベッドサイドで実施	引き続き 内科・療養病棟依頼の心電図検査はベッドサイドで実施。また心臓超音波検査で移動困難な患者についても積極的にベッドサイドで実施する。	・引きつづき、移動困難な患者はベッドサイドで検査を実施する。	・ベッドサイドでの心電図検査、超音波検査の依頼に対して100%の実施。	・引きつづき、移動困難な患者はベッドサイドでの検査を実施する。		検査機器の充実と技師増員
			・聴力検査を検査科で実施する。	・担当日には100%の実施。	・引きつづき、聴力検査を検査科で実施する。		技師増員
			・NOガス検査を検査科で実施する。	・依頼に対して100%の実施	・引きつづき、NOガス検査を検査科で実施する。		技師増員
診療情報管理室	電子カルテの充実を図る。	電子カルテを平成29年度に導入した。	・引きつづきテンプレートや様式を作成し、医療安全と看護業務の支援を行なう。	・依頼のあったテンプレートや様式を速やかに作成し医療安全と看護業務の支援を行えた。	引きつづきテンプレートや様式作成し医療安全と看護業務の支援を行なう。		他職種との打ち合わせを蜜に行う
臨床工学科	オンコール体制による夜間・昼間の人工呼吸器装着	担当医又は病棟よりオンコールにて対応。又は電話による対応	・待機体制の確立。	・技士の待機体制は確立されていません。緊急時はオンコールで対応した。	・待機体制の確立。		・臨床工学技士確保を目指す
	オンコール体制による夜間・昼間の透析・血液浄化療法の対応	担当医又は病棟よりオンコールにて対応。又は電話による対応	・待機体制の確立。 ・病室での治療のためCE1名で対応（常駐）	・技士の待機体制は確立されていません。病室内でCE1名で対応した。緊急時はオンコールで対応した。	・待機体制の確立。 ・病室での治療のため1名（CE）で対応（常駐）		・臨床工学技士確保を目指す
地域連携室	地域の医療機関との連携	予約調整時の協力 入院・転院予約時の外来サマリーの記入 他院予約票等の電子カルテへの取り込み	・引き続き、予約調整時の状況に応じた患者さまへの説明を実施。 ・入院・転院時の外来サマリーの記入をする。 ・他医療機関への各種問い合わせをスムーズに行う。 ・各種調整時、地連の方から外来、病棟に出向く。	・積極的に地連より外来・病棟に出向き各種調整や問い合わせ等を行い、また、状況に応じて患者さんへの説明も地連より行って看護師の負担軽減に努めた。 ・入・退院のサマリーの記入を行った。 ・外来中に看護師の手を止めることがないように事前に予約のとり方のルール作りの見直しを行った（一部の科）	・引き続き、予約調整時の状況に応じた患者さまへの説明を実施。 ・入院・転院時の外来サマリーの記入をする。 ・他医療機関への各種問い合わせをスムーズに行う。 ・各種調整時、地連の方から外来、病棟に出向く。 ・予約の取り方等。事前にルール作りや見直しを行い看護師の負担軽減に努める。		看護職員との連携
看護部 事務部	看護師の離職率の低下	今年度の看護師の離職は、ほぼ例年通りの数字となった。 隔月で実施している看護職員の見学・相談会は定着し、最近では看護補助者の参加者もみられ、毎回3~5組が参加し採用につながっている。	採用ツールの利用や離職防止のための取り組みを検討する	見学会の実施がコロナの影響で中止せざるをえなくなり、個別対応が求められるようになった。 ワークライフバランス推進委員会で、基準日から6ヶ月たった時点の有給休暇の取得状況を各部に配布し、取得状況を確認している。	採用ツールの利用や離職防止のための取り組みを検討する		・看護師および看護補助者、奨学生の確保 ・有休休暇を取得しやすい環境づくり
	看護師の採用人数の増加						

部署	項目	現状の取り組み	2020年度の目標		2021年度の目標		目標達成のために必要な事項
				達成状況		達成状況	
看護部 事務部	多様な働き方への対応	育児休業や復帰後の制度は、パンフレットを作成して、休業前に周知しているため、ほぼ浸透した。しかし、定期的に周知していかないと時間の経過とともに職員の記憶から薄れていくため、定期的な制度周知が必要となる。	各種制度の見直しや定期的な制度周知、利用できる制度の情報発信を行う ・ならし保育 ・3歳までの子を持つ職員の短時間勤務の実施 ・夜勤免除 ・時差出勤勤務	育児休業復帰者はほぼならし保育を行っており、制度は浸透している。今後も多様な働き方を選択できるよう、定期的に周知を行うことが必要。	各種制度の見直しや定期的な制度周知、利用できる制度の情報発信を行う ・ならし保育 ・3歳までの子を持つ職員の短時間勤務の実施 ・夜勤免除 ・介護休業 ・時差出勤勤務		・制度周知の為の情報発信
臨床工学科	遠隔モニタリング (CPAP)解析サポート	出来るだけ2~3名のうち、1名で対応している。業務が重なると患者を待たすことになる。	・トラブル時対応。	・トラブル時対応した。	・トラブル時対応する。		臨床工学技士の確保を目指す。
	血液浄化センターサポート 火・木・土曜日 2クール開設予定 (7月)	6月から師長不在。経験1年未満2名。より一層のサポート (穿刺、開始、返血、管理等)	・CE3~4名で対応。 ・COVID-19関連ではCEは2名体制予定。	・2クール実施中。CE3~4名で対応。 ・土曜日、祝日、火、木は居残り対応。	・CE3~4名で対応。		臨床工学技士の確保を目指す。
	気管支鏡 (病棟) を工学室で管理する。	工学室→病棟→内視鏡センターで消毒洗浄。備品は中材で消毒。洗浄後、工学室へ返却。部品定数チェック。	・機器トラブル時対応。 ・部品管理チェック	・トラブル対応していた。 ・管理はできていた。	・機器トラブル時対応する。 ・部品チェック (管理) する。		臨床工学技士の確保を目指す。
	ベッドサイドモニター の点検	使用後は必ず工学科に戻す。点検後は工学技士が各病棟へ配置しに行く。	・終業点検続行。	・終業点検実施した (全台)。	・終業点検は続行。		メッセージャーの確保を目指す。
看護部	看護業務	看護学生、看護師、准看護師、ケアワーカーのための見学説明会 (隔月) の実施。	・看護師、看護補助者の雇用につなげ夜間看護要員増員につなげ負担軽減を図る。	・中途採用、看護補助者の雇用が困難であるが夜間の看護補助者配置により負担軽減となっている。	・夜間人員の確保、負担軽減を図るために取り組みを継続する。		
医療福祉相談室	病棟対応	電話対応 患者、家族への対応 見守り対応 (患者不穏時)	電話対応、患者、家族への対応、見守り対応を行なう事で、負担軽減を図る。	・適宜対応に協力し負担軽減医務めた。	電話対応、患者、家族への対応、見守り対応を行なう事で、負担軽減を図る。		
	移送調整	介護タクシーや民間救急の手配を行なっている。	転院や退院時の患者の移送の調整を担い負担軽減を図る。	・転院時の手配を行った。	転院や退院時の患者の移送の調整を担い負担軽減を図る。		
	患者、家族への説明	外来、入院の患者、家族へ必要時に説明を行なっている。	看護師からの連絡に速やかに対応し、看護師の対応時間の短縮を図る。	・看護師からの要請時、速やかに各種制度説明等の対応を行った。	看護師からの連絡に速やかに対応し、看護師の対応時間の短縮を図る。		
	救急対応	救急来院患者のうち、背景が複雑な場合には一緒に対応を行なっている。	看護師からの連絡に速やかに対応し、行政や外部関係者との調整を担うことで負担を軽減する。	・看護師からの要請に応じ、支援者の確認、各方面との連携調整を行った。	看護師からの連絡に速やかに対応し、行政や外部関係者との調整を担うことで負担を軽減する。		
	記録	カンファレンスの内容を電子カルテに入力している。	カンファレンスの内容を電子カルテに入力することで負担軽減を図る。	・看護師と協力し入力を行っていた。	カンファレンスの内容を電子カルテに入力することで負担軽減を図る。		
栄養科	食物アレルギー及び嗜好調査	食物アレルギーの程度や嗜好で食べられないものがある時の聞き取りを実施、対応している。	・表記の認識を共通する。	・委員会で通達、TQM活動で取り組む。	・聞き取り、対応を引きつづき取り組む。		情報収集 情報共有 (資料・マニュアル作成、配布)
	食事形態、付加食など食事変更の相談	患者の摂取状況を見て変更の相談があった場合、量や種類などについて提案している。	・提供している食品や食事の特徴、栄養量を知り、適切な提案が行えるようにする。	・実施。	・栄養管理を基軸に適切な提案を行う。		人材育成